

2007年（平成19年）8月15日

各位

近畿弁護士会連合会
理事長 益田 哲生

平成19年度近弁連人権擁護委員会夏期研修会シンポジウム
「刑事施設被収容者の人権－医療に関する権利を中心に－」のご案内

皆様方もご存知のとおり、現在、刑事施設はいずれにおいても過剰収容の状態であり、被収容者の生活環境は決して良好なものではありません。また、これらの施設に常駐する医師を確保することが極めて困難な状況にあり、過剰収容と相まって、被収容者の医療を受ける権利が充分には確保されていないと推察される状況です。更に、各弁護士会に対して申し立てられる人権救済が近時激増しており、その都度調査委員は被収容者と面談しておりますが、覚せい剤事犯による受刑者が多く、薬物による中毒症状や精神症状の存するケースが頻繁に見受けられ、中には適切な治療がなされず漫然と保護室収容が継続されている案件も見受けられるところです。

それゆえ、近畿弁護士会連合会人権擁護委員会は、本年の夏期研修会において「刑事施設被収容者の人権～医療に関する権利を中心に～」とのテーマでシンポジウムを開催することに致しました。同シンポジウムでは、実行委員会委員の調査結果や問題提起を報告したうえ、本問題について造詣が深い下記の3氏をお招きしてパネルディスカッションを行なう予定であります。

多くの皆様にご参加いただければと思います。

なお、参加を希望されます方は、下記にご記入のうえ、8月31日（金）までに下記担当事務局までご送付くださいますようお願い申し上げます

【パネリスト】

- 赤池一将氏（龍谷大学法学部教授）
- 中島直氏（多摩あおば病院精神科医）
- 前野育三氏（神戸拘置所視察委員・関西学院大学名誉教授・大阪経済法科大学法学部特任教授）

記

- 【日時】 2007年9月8日（土） 午後1時～午後5時
- 【場所】 兵庫県弁護士会館（神戸市中央区橋通1-4-3 TEL：078-341-7061）
- 【テーマ】 「刑事施設被収容者の人権～医療に関する権利を中心に～」
- 【参加費】 一般参加者は無料

9/8 近弁連人権夏期研修会に出席します。

貴名 _____

担当事務局：近弁連人権擁護委員会
（大阪弁護士会 委員会担当室 村松）
TEL：06-6364-1227 FAX：06-6364-7477

